

小野町国土強靱化地域計画パブリックコメント結果

◆意見等募集期間：令和4年1月20日～2月4日

◆意見記入票提出者：1名

No.	該当ページ	意見、提言等	回答
1-1	P. 41～P. 43	<p>町内に長年暮らしている中で、当町は大変住みやすい町と認識している。それは、なんと言っても自然災害（台風・地震・大雨等）に強い町ということだと思っていますが、大規模災害発生時の他市町村からの早期受け入れ体制の構築が弱いので、その体制構築をすべきと考えます。</p> <p>東日本大震災のとき、広野町町民の一時避難先として受け入れ、今も広野町を訪問すると小野町に対する御礼を受けることがあります。あの時を振り返るとまだまだ不十分な受け入れ体制だったと思っていますので、町としての骨格を明記していただきたい。</p>	<p>大規模災害発生時の受入体制に関してのご意見ありがとうございます。</p> <p>国土強靱化地域計画につきましては、大規模自然災害等に備えるため、「事前防災・減災」と「迅速な復旧復興」に資する施策を実行する計画となっております。</p> <p>上記趣旨に基づき、計画（案）のP25、P36等において受入体制の充実・強化について盛り込んでいるところです。</p> <p>ご意見がございました他市町村からの受け入れ体制など「災害発生時の対応」につきましては、「小野町国土強靱化地域計画」ではなく、「小野町地域防災計画」にて対応することになります。受入体制の骨格につきましては、小野町地域防災計画 P71 以下に規定しており、町公式ウェブサイトにてご確認いただければと思います。</p> <p>なお、小野町地域防災計画につきましては、適宜見直しに取り組んで参ります。見直しの際には、パブリックコメントを行いますので、ご意見等頂戴いただければ幸いです。</p>
1-2	P. 44～P. 45	<p>町内にはまだまだ舗装になっていない道があるので、舗装道路にすることで緊急時の人や車の搬送がスムーズになり、除雪なども安易にできるようになると思います。また、場所によってはまだまだ暗い道があり、防犯上も好ましくないと考えるので、LED 電球による街路灯整備が必要と思います。</p>	<p>舗装道路及び防犯に関してのご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見がございました道路の整備に関しては計画（案）P18、P26等に、防犯灯の更新については計画（案）P19に盛り込んでおり、取組を推進して参りたいと考えております。</p> <p>なお、町内の街路灯は平成26年度に、防犯灯は平成30年度に全てLED化としております。防犯灯につきましては、平成31年度（令和元年度）以降も各行政区長からの要望により、追加整備しており、令和3年度は、20基新設したところです。</p> <p>道路の舗装に関しまして、路線の重要度、緊急性等を勘案しながら、計画的に整備を進めて参ります。</p> <p>限られた予算の中、地域の実情に応じて計画的に取り組んでおりますのでご理解願います。</p>
1-3	P. 46～P. 47	<p>非常時災害発生用に食料・飲料水等を備蓄している家庭・職場が多くあると思いますが、その点検を実施している家庭・職場は少ないと感じるので、年2回ぐらい定期的に点検日を設けて点検を実施すれば、町民の意識向上にも役立ち、災害時の大きな混乱を少しでも軽減できると思います。</p>	<p>備蓄品の点検に関してのご意見ありがとうございます。</p> <p>備蓄品の点検につきましては、計画（案）P25及びP47に記載した家庭や地域における備蓄の促進に向けた啓発等で取り組む予定です。今年度も広報おのまち9月号で備蓄品の点検について、お願いしているところではございますが、例年行っている小野町総合防災訓練や自主防災会長を対象とした防災訓練などを通じて各行政区へ伝達していただくなど更なる啓発に努めて参ります。</p>
1-4	P. 54～P. 55	<p>町内の河川工事はあちこちで行われており、完成すれば少しは安心できるようなと思っていますが、現代の異常気象を考えると、どれだけの量の雨が降ってくるか予想できない世の中になっています。そこで、危険な河川箇所には大雨時に自然と川から水田に水が流れて、水田ダム的な場所を多く設置して、他への流出を防ぐようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>水田所有者の理解と協力がなければできないことですが、水害時の床下被害等の甚大なる被害費用を考えると、やるべきと思っています。</p>	<p>水田ダムに関してのご意見ありがとうございます。</p> <p>水田ダムは、水田の排水口に小さな穴の開いた調整板などを取り付けて雨水を一時的に貯め、時間をかけて少しずつ流すことで、河川や水路の急激な水位上昇を軽減する仕組みです。</p> <p>福島県では、来年度、新たな検討組織の立ち上げ、地形条件を踏まえた洪水被害軽減モデルの作成に取り組む予定となっております。</p> <p>河川や水路対策については、計画（案）P20等に記載しているところですが、今後、福島県が作成する予定のモデル等を注視し、水田ダムの整備をはじめ、町の水害対策に有効な施策があれば、そのつど計画を改定して取り組みたいと思います。</p>